

第3回PTA部会 議事録

(1)日 時：令和5年1月19日（木）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2)参加者：委員（12名）、事務局8名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・第2回PTA部会での意見抜粋
- ・スクールバス（直行方式修正案）について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（第2回PTA部会での意見抜粋について）

部会長 ・レジメに沿って会を進めたい。9月29日に第2回目を開催してから日が経っているがもう一度振り返るという意味で第2回目の意見内容について事務局より説明をお願いしたい。

《資料説明及び意見交換》

（第2回PTA部会での意見抜粋）

事務局 ・資料1（第2回PTA部会での意見抜粋）を説明

参考資料1（スクールバス（直行方式案）について）を紹介

参考資料2（大野市中学校再編（スクールバス（案））について）を紹介

部会長 ・第2回目の内容を説明いただいた。本日の提案との照らし合わせも必要になってくると思われるので、念のためにもう一度資料に目を通していただいて新しい提案を聞きたい。少し時間をとりたい。

（約8分間各自で資料を検討）

部会長 ・だいたい目を通していただけたか。第2回目の時に7ルート案という具体的な直行方式（案）を提示いただき検討し意見交換をしていただいた。各地区の道路など地理的状況もある中で順に意見を出していったが時間的なロスもあるということで今日は第2回目の意見に基づいて新たな案が2案提案される。説明後に校区ごとにワークショップ的な形で進めたい。それでは事務局より新しい案について説明をお願いしたい。

（スクールバス（直行方式修正案）について）

事務局 ・本日の趣旨は提案するルート案のどちらかに決定するものではない。事務局で前回の7ルート案から2つの案を考えた。それぞれのいいところや悪いところを出していただき、今後さらにいいものにしていきたい。

・資料2（スクールバス（直行方式修正案））を説明

2-1（8ルート案）を説明

- ・主な変更点は字を太くしてアンダーラインが入っている。
- ・地区をまとめたバス停で停まることを考えている。（3～5か所）
- ・バス停までの距離は1kmを想定している。
- ・往復40分以内ならば2便を出せる可能性はある。

・ルートによっては中高生と一緒に乗車することも考えられる。

2-2 (10ルート案) を説明

・主な変更点は字を太くしてアンダーラインが入っている。

・各地区のバス停に停まることを考えている。

・バス停までの距離は500mを想定している。

・補足説明

・バス停で乗る地区の中学生の人数を記載してある。

・バス停までが500mになると狭隘な路線を通ることも考えられる。

・冬期間になると道路状態で困難な道も出てくる可能性がある。

・バス停までが1kmの方は主に幹線道路を通行停車するように考えた。

・極力ジグザグに細い道まではいかず時間を短縮するように考えた。

部会長 ・ご理解いただけたらどうか。10ルートの方はかなり細いところに入ってくる。地域の方でないとわからない部分もある。これのどちらかに決めるのではなく、案としても提案で2つの案を合わせてということもあるかもしれないし別の有効なルート案が出てくるかもしれない。ここまでで質問があればお聞きしたい。

委員1 ・前提条件として中学校と高校の学校に入る時間は現状の8時と8時半でいいのか。

事務局 ・今後の状況によってはわからないが、現状で考えていただきたい。

委員2 ・夏と冬でバスのルートを変えることは考えているのか。それとも今後という話か。晴れの時、雨の時は登録者が変わったりすることはあるのか。

事務局 ・夏と冬で通る道が変わるとか、人数が変わるとか、今のところはそこまでは考えていない。年間同じ人が乗り同じルートを走るイメージでいる。

委員3 ・3km以遠になっているが、道で3kmか、円で3kmか。

事務局 ・道で3kmを考えていて地区ごとになっている。

委員4 ・3km以内を含んでいる地区は除くのか。

事務局 ・3kmに到達している地区は入っている。

部会長 ・今の話を受けて、今後各地区での生徒数は変動する。このルート案でいけば生徒数が動いても止まらないバス停があるかもしれないし、ルート案の流れは変えずにいくのか。

事務局 ・年度によってもある程度固定してやっついていかないと混乱も生まれる。出来るだけ同じルートで行ける方が好ましいとは思う。最終的にルートを固めても登録制にすると直前で登録者数が変わるのでだいたいのイメージでとらえていただきたい。

部会長 ・他にはないか。討議している中で疑問があればその場で聞くことにして各校区に分かれて始めていきたい。

事務局 ・どなたかグループの中で意見をまとめて書いていただきたい。そして最後にお聞かせいただきたい。

部会長 ・全般的な話もあれば地区ごとに絞った内容もある。どちらでも挙げていただく形でお願いしたい。ではさっそく協議をお願いする。

(約30分間校区ごとで資料を検討)

- 部会長 ・では、よろしいか。各校区での報告をお願いするが、出た意見を事務局で取りまとめていただいて準備委員会の方に諮らせていただく形にしたい。報告の前に各地区で聞いておきたいことがあればお願いしたい。
- 委員5 ・既存のバス停を使うということで他の利用者とスクールバス利用者との周知ができるのか。見た目など区別がつきにくいと困るのではないか。土日は部活によって時間がまちまちなのでスクールバスは無しでいいのではないか。
- 部会長 ・スクールバスと路線バスとの区別についてはどうか。土日についてもどう考えるか。
- 事務局 ・バスの見た目ははっきり変える必要があるのではないかと思う。具体的なものはないがバスの前や横にスクールバスと明記して一般の方が乗れないようにするならばそのようにする必要があると考える。
- 事務局 ・土日の学校行事については現在も対応しているという話だったのでその部分は行事予定があれば対応が可能。部活動は時間帯もばらばらになるから個々に対応すればいいという意見として伺っておく。
- 部会長 ・他にはないか。校区ごとの意見の報告をお願いしたい。他校区の話聞いて気づきがあれば発表後に追加して報告をしてほしい。では南部中校区からお願いしたい。
- 委員6 ・8ルート案については、平泉寺・遅羽ではバス停が遠い地区が出てくるので利用者が少ないのではないか。遅羽ではもし8ルート案になるのなら自転車が駐車できる場所をバス停としてはどうか。猪野口地区が拾えない、乗車時間が延びるかもしれないから高島を遅羽に混ぜたらどうか。10ルート案では比島を鹿谷のルートで拾えないか。細かくバス停が設置されているので利用しやすいのではないか。猪野瀬方面で冬期間の通行が厳しいところがあるのではないか。具体的には増田喜から下に降りて村うちを通る道は細い。広域農道を川の方まで降りて自動車学校を巻くような形の方がいいのではないか。遅羽方面は勝山駅を停留所に入れるとどうか。その他として乗る人の事前登録制で前日の何時までに入力してくださいとすればいいところは停まらなくてもよくなる。乗車時や学校の入校時に自動的に確認が取れると親御さんも安心ではないか。もしくは乗車時に乗りましたよ、乗れませんよと出るといいのではないか。
- 部会長 ・今のことで何か確認しておくことはないか。
- 事務局 ・ご提案としてお聞きするが勝山駅に停まるとえち鉄を利用する高校生のことも出てくる。
- 委員7 ・前回の部会でも出ていたかと思うが1便目は原則中学生、2便目は原則高校生として中学生からバスの利用が習慣化すれば高校になっても使うだろうと思う。以前の説明会では高校生も利用していいという話があって準備委員会でもダメですという話は聞いていないので場合によっては電車の子も乗れたりする。

- 部会長
委員 8
- ・他はよろしいか。次に中部中校区をお願いしたい。
 - ・中部中校区としては遠いところの野向方面で後は村岡、荒土方面に少しあって北部中校区のラインになる。ルートを見ると野向はしっかり回っていていい案だと思う。8ルート案は乗車時間は短いがバス停までが遠くなる。10ルート案は逆でバス停までが近く、停まる場所が増えるから時間がかかる。より近い10ルートの方がいいという形でまとまっている。土日はどうするかという話では、授業参観とか登校日については別にして、部活のためにスクールバスはなくてもいいのではないかな。来年度話し合われるときには、中部校区だと滝波地区は3kmぎりぎりのところで徒歩になるとかなり距離があると思う。今後村岡のPTA会長が参加されるようになったときにたまたま滝波地区の方がPTA会長だとなぜとなることが予見される。今後の課題として考えておいていただきたい。
- 部会長
委員 9
- ・特に10ルート案についての改善はなかったか。
 - ・地区ごとに停まっていただけになるので野向、栃神谷では問題はないと思う。
- 部会長
委員 10
- ・他はよろしいか。では北部中校区をお願いしたい。
 - ・8ルート案ではバスの数が2台少ないので大型の車が走る。下森川と西妙金のバス停が1つというのはいかがか。1km徒歩は長いので自家用車が増えて結局駐車場の中に車が多くなるのではないかな。40分あれば2便を出せるというのは始業時間が厳しいのではないかな。10ルート案は500m圏内で歩く距離が短いから安全面は高いのではないかな。1km歩くのがいやで車を出すと危険度が高まるのではないかな。北部校区で考えると停まるバス停が少なくなるので2便案にしやすいのではないかな。デメリットとしては車を2台、人を2人用意しないといけないうので費用や人材確保ができるのだろうか。500mは狭いので今後500m圏外の子が出てきた場合、利用しにくいのではないかな。
- 部会長
事務局
委員 11
- ・今の中ではどうか。
 - ・500mを外れた子が利用しにくいということか。
 - ・令和9年度の案であって何年か後になってこのバス停にはいない、このバス停には増えたという場合にはまた新しいバス停を設けていくのかと思ったが場所が変わると混乱するという考えもあった。
- 事務局
- ・バス停は必ず固定ではなく、年単位で変えることは可能かと思う。1年間で夏はここを通過して冬はここを通過というのは混乱を招くかと思うが年ごとにある程度変えることは出てくる。人数によっても来年はこちら周りのルートにしなければいけないことが出てくると思う。臨機応変にやっていくことができればと思っている。
- 委員 12
- ・たとえば鹿谷方面の1、2はバス停がかなり近くにあるのではないかな。
- 委員 13
- ・鹿谷の方がいなくてよくわからない。
- 部会長
- ・今後検討していく中でやりやすいルートが出てくる可能性はある。今後の検討材料として考える。3中学校区の意見をいただいたが、何かあれば発

言をお願いしたい。今出た意見を事務局で取りまとめて次に参考意見としてつなげていく形にしたい。お聞きしていて建設的な意見ばかりで心強く感じた。PTA部会の今後も子ども達がより安全安心に通学できる環境を作るために議論を進めていきたい。それでは次年度以降どのように進めていくのかについて決まっていることがあれば事務局をお願いしたい。

事務局 ・校区ごとの意見をまとめて再編準備委員会に上げさせていただいて今後につないでいきたい。バス停までの距離のこと、ルートやバス停の位置のこと、便数は中学校と高校の校時表とも絡んでくることが課題として出ているのでそのことも含めて来年度へつないでいきたい。

部会長 ・部会長として3回させていただいたが、皆さんのありがたい意見ばかりいただき真剣に考えていただいた。次年度以降も引き続き良い方向に向かえるようお願いしたい。最後に事務局をお願いする。

事務局 ・今年度は基本計画を作ってきて、3月に決定したいと考えている。計画が決定されると建設の道筋がつくことになるので来年度は学校の教育内容とか授業などソフト面に入って行く。スクールバスの話も校時がどうなるのかなどリンクしてくる話が収束してくる。9年度という開校は先だが4年間かけて今から3中学校間の連携や勝高との連携を少しずつできることをやっていく。それと並行してあたらしい学校のソフト面、カリキュラム面も考えていく。スクールバスについてはいただいた意見を来年度につなぐがソフト面が決まってくると進んでいく。組み合わせながらやっていきたい。スタートのところで皆さんにスクールバスについて話していただいたことは感謝している。部会としては最後だが再編準備委員会の時にお会いすることになると思う。本日まで大変お世話になった。

事務局 ・本日の会議については以上で終了したい。

資料1. 第2回PTA部会での意見抜粋

資料2-1、2-2. スクールバス（直行方式修正案）について

参考資料1. スクールバス（直行方式案）について

参考資料2. 大野市中学校再編（スクールバス（案））について